

平成 25 年度定期監査等結果報告書

1. 監査の種別

- (1) 定期監査（地方自治法第 199 条第 4 項）
- (2) 行政監査（地方自治法第 199 条第 2 項）
- (3) 随時監査（地方自治法第 199 条第 5 項）
- (4) 財政援助団体等監査（地方自治法第 199 条第 7 項）

2. 監査実施日及び対象（26 ヶ所）

- (1) 定期監査
- (2) 行政監査

平成 26 年 1 月 30 日	企画総務部総合政策課、生活環境部市民課・生活安全課・環境政策課、まちづくり部生涯学習センター
1 月 31 日	財務部財政課、健康部国保医療課・地域医療課・看護専門学校準備室
2 月 4 日	福祉部社会福祉課、建設部建設課・都市住宅課、産業経済部農業振興課・新産業創造課、まちづくり部市島支所
2 月 5 日	教育部教育総務課・学校教育課・こども育成課、産業経済部恐竜を活かしたまちづくり課、まちづくり部柏原支所
2 月 6 日	前山小学校、船城小学校・船城幼稚園、東小学校・東幼稚園、氷上中学校

《書面による監査》

平成 25 年 11 月 29 日～随時 事務部局 企画総務部総務課外 38 ヶ所
教育委員会部局 崇広幼稚園外 38 ヶ所

- (3) 随時監査

ア. 工事監査

平成 25 年 6 月 24 日	①市辺配水池関連整備工事及び電気計装設備工事
6 月 27 日	②新井小学校北校舎改築工事 ③和田地区 P 1 揚水機工事
平成 26 年 2 月 13 日	④石龕寺治山工事 ⑤消防本部庁舎増築及び訓練塔新築工事

イ. 現金監査

平成 26 年 1 月 30 日	まちづくり部生涯学習センター（春日文化ホール）
2 月 4 日	まちづくり部市島支所（ライフピアいちじま）
2 月 5 日	産業経済部恐竜を活かしたまちづくり課、まちづくり部柏原支所（柏原住民センター）

- (4) 財政援助団体等監査

平成 25 年 11 月 28 日 柏原神姫タクシー株式会社（指定管理者監査）

3. 監査の主眼

年度当初に定めた実施計画のもと、事務事業の執行が地方自治法第2条第14項及び第15項に規定の趣旨に沿ったものであるか否かに重点をおき、主に平成25年度各所管課が抱える事務事業執行上の問題点、懸案事項を検証し、さらに、上半期の予算執行状況について関係法令等に準拠し、行政監査の視点も考慮しながら市行政の合規性・効率性について考察を行った。

4. 監査の方法

各部署から監査資料・関係書類等の提示を求め、抽出により各所管課と出先機関並びに財政援助団体等の一部を監査対象として、担当部長をはじめとする職員の説明を聴取し、事務事業の執行が適正かつ効率的に執行されているかを監査した。

なお、前回の定期監査で意見及び要望を行った事項について、改善等の状況も確認した。

5. 監査の結果

監査対象とした事務事業は、概ね適正に執行されていることが認められた。

しかし、一部において事務処理に適正を欠くものや、検討・改善を要する事項が認められたので、以下に記述する「意見及び要望」を踏まえて、一層適正な事務の執行に努められたい。

なお、軽易な事項については、担当職員に対して検討・改善を要望したので記述を省略した。

定期・行政監査

企画総務部

総合政策課

◆組織及び事務事業

課長以下 13 人（うち非常勤一般職 2 人、臨時 1 人）体制で、行革・行政評価、秘書、広報広聴、市政施策推進、広域連携、C I 戦略、“恐竜の里たんば”ふるさと応援、統計調査総務、コミュニティ FM 支援を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 全国自治体事例調査の分析結果については、先進事例等を他部署に情報提供されているが、人口減少・少子高齢化が進行する中での次期総合計画策定に有効に活用されたい。
- ② コミュニティ FM 支援事業においては、事業主体者との協議を進め進捗や運営状況を十分に把握されたい。

まちづくり部

生涯学習センター

◆組織及び事務事業

所長以下 20 人（うち非常勤特別職 1 人、非常勤一般職 5 人、育児休業 1 人）体制で、スポーツ振興、生涯学習支援、生涯学習施設管理・統括、ホール運営、ホール管理、芸術文化団体育成、市展開催を主な事務事業としている。

●意見及び要望

生涯学習ポイントカード「まなびすと」制度は、TAMBA シニアカレッジにおいて利用されているが、他の事業においても利用できないか検討されたい。

柏原支所

◆組織及び事務事業

支所長以下 17 人（うち非常勤特別職 1 人、非常勤一般職 4 人、臨時 1 人、育児休業 1 人）体制で、支所業務、柏原住民センター管理、地域づくり、柏原地域公共施設等整理を主な事務事業としている。

●意見及び要望

柏原支所施設警備業務は施設一体となっている。柏原支所の使用 2 団体において、光熱水費については負担金を徴収されているが、警備業務に係る経費についてもその取り扱いを検討されたい。

市島支所

◆組織及び事務事業

支所長以下 18 人（うち非常勤特別職 1 人、非常勤一般職 5 人、臨時 2 人）体制で、支所業務、ライフピアいちじま管理、市島市民グラウンド管理、三ツ塚・長尾テニスコート管理、友政グラウンドゴルフ場管理、愛育館管理、スポーツピアいちじま管理、地域づくり

を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① ライフピアいちじま使用料及びスポーツピアいちじま使用料において、調定の遅れているものが見受けられた。財務規則に準拠した、適切な事務処理に努められたい。
- ② AEDについて、点検等の状況を記録した保守点検簿を備え付けられたい。

財 務 部

財 政 課

◆組織及び事務事業

課長以下12人（うち非常勤一般職1人）体制で、財政管理、財産管理、市営駐車場、指定管理選定委員会事務を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 公有財産の計画的な活用と処分について、継続して検討されたい。
- ② コピー用紙使用枚数の削減について、職員全体の意識改革を含め、さらに検討されたい。

生 活 環 境 部

市 民 課

◆組織及び事務事業

課長以下17人（うち非常勤一般職1人）体制で、戸籍・住基・印鑑事務、氷上支所機能管理を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 出張後の復命書提出の遅れが見受けられた。丹波市職員服務規程に基づき速やかに処理されたい。
- ② 第四土曜日の開庁業務が2年を経過する中で、市民サービス向上の一環として、さらに業務内容を検討されたい。

生 活 安 全 課

◆組織及び事務事業

課長以下8人（うち非常勤一般職2人）体制で、非常備消防施設・水利整備、消防団管理、交通安全啓発、地域安全、消費者行政推進を主な事務事業としている。

●意見及び要望

青少年問題協議会委員の委嘱が遅れている。委員の任期満了後は、速やかに委嘱するように努められたい。

環 境 政 策 課

◆組織及び事務事業

課長以下5人体制で、環境衛生、環境保全、公害対策、斎場管理運営、畜犬等関連、環境施策推進を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 斎場使用料の収入調定に遅れが生じている。適期に調定を行い、事務の適正化を図りたい。
- ② 保健衛生推進協議会の郵便切手の管理台帳において、計算誤りや記入もれが見受けられた。適正な事務処理に努められたい。
- ③ 斎場の消防用設備保守点検業務に係る委託契約を 10 月に締結されている。6 ヶ月に 1 回の点検が行えるように、早期に契約締結をされたい。

福 祉 部

社 会 福 祉 課

◆組織及び事務事業

課長以下 13 人（うち非常勤一般職 2 人、育児休業 1 人）体制で、敬老事業等、災害見舞金支給等、児童手当支給、社会福祉総務、社会福祉団体等補助金・負担金、生活保護、戦没者遺族対策、福祉センター・老人福祉センター運営、福祉バス運営、母子自立支援、民生委員児童委員等活動、福祉基金管理を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 生活保護費の一部について窓口支給されている。事故防止の観点から口座振込を奨励されたい。
- ② 出張後の復命書提出の遅れが見受けられた。丹波市職員服務規程に基づき速やかに処理されたい。

健 康 部

国 保 ・ 医 療 課

◆組織及び事務事業

課長以下 10 人体制で、福祉医療費助成、後期高齢者医療、国民健康保険、国民年金事務を主な事務事業としている。

●意見及び要望

後期高齢者医療保険料の還付事務について、今後においても迅速な還付に努められたい。

地域医療課、看護専門学校準備室

◆組織及び事務事業

課長以下 2 人体制で、医療確保、地域医療啓発を主な事務事業としている。

●意見及び要望

地域医療市民講座は、地域医療に対する市民意識の向上を図るために有効な事業である。今後においても、周知方法等を検討され、さらに事業推進を図られたい。

産 業 経 済 部

農 業 振 興 課

◆組織及び事務事業

課長以下 27 人（うち非常勤特別職 1 人、非常勤一般職 9 人、臨時 1 人）体制で、農業振興計画、特産物振興、担い手農業者への支援、耕作放棄地対策、有害鳥獣対策、農業関係の施設管理、園芸施設共済、家畜共済、建物・農機具共済、農作物共済、畑作物共済、農業共済管理を主な事務事業としている。

●意見及び要望

有機センターの堆肥売払収入のうち堆肥直接渡しについて、販売と料金収納の管理体制を検討されたい。また、堆肥の品質向上にも努められたい。

新 産 業 創 造 課

◆組織及び事務事業

課長以下 8 人（うち非常勤一般職 2 人）体制で、企業誘致推進、中小企業支援、中心市街地活性化、労働雇用対策、経済センサス調査、工業統計調査を主な事務事業としている。

●意見及び要望

委託業務の執行において、支出負担行為の起票の遅れているものが見受けられた。財務規則に準拠した、適切な事務処理に努められたい。

恐竜を活かしたまちづくり課

◆組織及び事務事業

課長以下 4 人（うち非常勤一般職 1 人）体制で、恐竜を活かしたまちづくり、丹波竜施設管理を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 丹波竜化石工房券売機の回収管理については、月 2 回と改善されている。さらに職員体制を勘案した安全管理を検討されたい。
- ② 出張後の復命書提出の遅れが見受けられた。丹波市職員服務規程に基づき速やかに処理されたい。
- ③ 「丹波竜」及び「ちーたん」の市外等に向けた情報発信と啓発のため、「ちーたんサポークラブ」と協力し、さらなる情報発信に取り組みられたい。

建 設 部

建 設 課

◆組織及び事務事業

課長以下 13 人（うち非常勤一般職 1 人）体制で、道路整備、河川整備、公共土木施設災害復旧を主な事務事業としている。

●意見及び要望

収入印紙の管理台帳において、記入もれが見受けられた。適正な事務処理に努められたい。

都 市 住 宅 課

◆組織及び事務事業

課長以下 12 人（うち臨時 1 人）体制で、都市計画総務、土地利用対策、公共交通バス対策、福知山線複線化促進対策、市営住宅管理、市営住宅建設、市営住宅総務、宅地分譲、公園管理を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 鉄道利用推進対策補助金において、一部に実績報告書の提出の遅れが見受けられた。丹波市鉄道利用推進対策補助金交付要綱に基づき速やかに処理されたい。
- ② 市営住宅使用料の収入調定に遅れが生じている。適期に調定を行い、事務の適正化を図られたい。

教 育 委 員 会 教 育 部

教 育 総 務 課

◆組織及び事務事業

課長以下 11 人（うち非常勤一般職 1 人）体制で、教育委員会運営、奨学金給付、学校保健体育振興、小中学校教育振興、小学校管理、中学校管理、特別支援教育就学奨励、要保護及び準要保護児童生徒援助、教育統計調査、学校適正規模・適正配置計画、学校等整備基金管理、社会教育委員を主な事務事業としている。

●意見及び要望

- ① 結核対策委員会設置規則の一部において、規則改正がなされていない。速やかに規則改正の手続きを執られたい。
- ② 社会教育主事の育成について、計画的に職員が資格取得できる措置を講じられたい。

学 校 教 育 課

◆組織及び事務事業

課長以下 16 人（うち非常勤一般職 6 人）の体制で、学校運営支援、学力向上、生きる力育成、教職員研修、教職員人事・サービスを主な事務事業としている。

●意見及び要望

印刷業務の発注における随意契約の見積比較について、業者の見積機会に偏りが生じることがないように広く業者指名を行われたい。

こ だ も 育 成 課

◆組織及び事務事業

課長以下 11 人（うち非常勤一般職 1 人）の体制で、認定こども園、保育所運営、幼稚園管理、幼稚園預かり保育、幼児教育・保育推進を主な事務事業としている。

●意見及び要望

幼稚園保育料及び預かり保育料の滞納繰越分について、適切な債権管理に努められたい。

学 校 関 係

東 幼 稚 園

◆組織及び事務事業

園長以下 10 人（うち園長・教頭はそれぞれ東小学校長・教頭が兼務、非常勤教諭 1 人、臨時介助員 1 人、預かり保育指導員 4 人）で、「心豊かに生き生きと活動する子どもの育成」を基本目標として幼稚園教育を行っている。

また、園内の研修に「伝え合う喜びや楽しさを味わう」を研究主題として取り組んでいる。

園児は、5 歳児 2 クラス 41 人(平成 25 年 5 月 1 日現在)である。

●意見及び要望

自然災害や不審者から園児の安全を確保するためには、それらを想定した訓練の実施とともに、日頃から職員の危機管理、安全管理意識の醸成が不可欠である。防災計画を熟知するとともに、小学校との連携を密にし、園児の安全確保に努められたい。

東 小 学 校

◆組織及び事務事業

校長以下 24 人（うち非常勤講師 1 人、臨時講師 2 人、非常勤介助員 1 人、特別支援教育支援員 1 人、海外日本人学校派遣 1 人）で、「進んで学び、こころ豊かで、心身共にたくましい児童の育成」を基本目標として学校教育を行っている。

また、学校の研修に「みんなでかかわりあい深め合う学びの場をめざして」を研究主題として取り組んでいる。

児童数は 282 人で、学級数は 13 クラス(平成 25 年 5 月 1 日現在)である。

●意見及び要望

- ① 防災訓練については、3 回実施されているが、防犯面において「さすまた」を使用した訓練・講習会を検討されたい。また、消火訓練についても検討されたい。
- ② 実験、実習用薬品の管理簿において、記録記載が遺漏となっている箇所が見受けられた。使用等の際には、昨年統一された管理簿に記入し安全管理に努められたい。
- ③ セーフティたんば号での巡回パトロールは、可能な限り職員 2 名の乗車に努められたい。

船 城 幼 稚 園

◆組織及び事務事業

園長以下 9 人（うち園長・教頭はそれぞれ船城小学校長・教頭が兼務、非常勤教諭 1 人、臨時教諭 1 人、非常勤介助員 1 人、預かり保育指導員 2 人、育児休業 1 人）で、「仲間とともに、生き生きと遊ぶ子どもの育成」を基本目標として幼稚園教育を行っている。

また、園内の研修に「心はずませ、のびのびと遊び、共に育ち合う力を育む」を研究主題として取り組んでいる。

園児は、4、5 歳児各 1 クラス 20 人(平成 25 年 5 月 1 日現在)である。

●意見及び要望

自然災害や不審者から園児の安全を確保するためには、それらを想定した訓練の実施とともに、日頃から職員の危機管理、安全管理意識の醸成が不可欠である。防災計画を熟知するとともに、小学校との連携を密にし、園児の安全確保に努められたい。

船 城 小 学 校

◆組織及び事務事業

校長以下 14 人（うち非常勤講師 1 人、臨時講師 1 人、長期研修 1 人）で、「進んで 根っこを きたえる 船城っ子」を基本目標として学校教育を行っている。

また、学校の研修に『『わかった』『できた』と実感できる算数科の授業づくり』を研究主題として取り組んでいる。

児童数は 74 人で、学級数は 7 クラス(平成 25 年 5 月 1 日現在)である。

●意見及び要望

- ① 防災訓練については、3 回実施されているが、防犯面において「さすまた」を使用した訓練・講習会を検討されたい。また、消火訓練についても検討されたい。
- ② セーフティたんば号での巡回パトロールは、可能な限り職員 2 名の乗車に努められたい。

前 山 小 学 校

◆組織及び事務事業

校長以下 17 人（うち非常勤講師 3 人、非常勤介助員 1 人、非常勤校務員 1 人）で、「こころ豊かで たくましく共に生きる 前山っ子の育成」を基本目標として学校教育を行っている。

また、学校の研修に「わかる・できる算数の授業づくり」を研究主題として取り組んでいる。

児童数は 87 人で、学級数は 7 クラス(平成 25 年 5 月 1 日現在)である。

●意見及び要望

- ① 寄贈された物品で備品登録をされていないものが見受けられた。購入又は寄贈の時点で速やかに備品台帳に登録するよう努められたい。
- ② 防災訓練については、3 回実施されているが、防犯面において「さすまた」を使用した訓練・講習会を検討されたい。また、消火訓練についても検討されたい。
- ③ 防火訓練等の際に、防火シャッターの作動確認をされたい。
- ④ セーフティたんば号での巡回パトロールは、可能な限り職員 2 名の乗車に努められたい。

氷 上 中 学 校

◆組織及び事務事業

校長以下 42 人（うち非常勤講師 3 人、臨時講師 3 人、スクールカウンセラー 1 人、特別支援教育支援員 1 人）で、「自らを律し、意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を基本目標として学校教育を行っている。

また、目指す生徒像として、「仲間を大切にし、思いやりの心を持つ生徒」、「深く考え、自律し、責任ある行動をする生徒」、「自ら意欲的に学び、常に努力する生徒」を掲げ取り組んでいる。

生徒数は 593 人で、学級数は 18 クラス(平成 25 年 5 月 1 日現在)である。

●意見及び要望

- ① 防災訓練を実施されているが、消火活動を含めた訓練の実施について検討されたい。
- ② 実験、実習用薬品の管理簿において、記録記載が遺漏となっている箇所が見受けられ

- た。使用等の際には、昨年統一された管理簿に記入し安全管理に努められたい。
- ③ セーフティたんぼ号での巡回パトロールは、可能な限り職員2名の乗車に努められたい。
- ④ 中学校公衆電話料金を個別の通帳にて管理されている。その取り扱いを検討されたい。

《書 面 に よ る 監 査》

本年度、実地による監査を行わなかった部局等については、所定の監査資料の提出を求め、書面による監査を実施した。

1. 監査実施日 平成25年11月29日～随時
2. 監査対象
 - (1) 事務部局 企画総務部総務課・職員課、まちづくり部地域協働課・人権啓発センター・氷上支所・青垣支所・春日支所・山南支所、財務部事業監理課・税務課、生活環境部防災対策室・環境整備課、福祉部介護保険課・生活支援課、健康部国保診療所・健康課、産業経済部農林整備課・観光振興課、建設部管理課・施設建築課・下水道課、消防本部総務課・予防課・消防課・消防署、水道部業務課・工務課、会計課、教育部学校給食課・柏原保育所・柏原西保育所・わかくさ保育園・子育て支援課・文化財課・植野記念美術館事務局・中央図書館事務局、議会事務局、農業委員会事務局、監査委員事務局
 - (2) 幼稚園 崇広、新井、中央、西、南、黒井、春日部、進修、和田、竹田、三輪幼稚園
 - (3) 小学校 崇広、新井、中央、西、南、北、佐治、芦田、神楽、遠阪、黒井、春日部、大路、進修、上久下、久下、小川、和田、竹田、吉見、鴨庄、三輪小学校
 - (4) 中学校 柏原、青垣、春日、山南、和田、市島中学校

随 時 監 査

1. 工 事 監 査

1. 監査の要領

地方自治法第 199 条第 5 項に基づき、決算審査及び定期監査にあわせ次のとおり工事監査を行った。

この監査は、平成 25 年度定期監査実施計画等を基に、建設工事の計画、設計、施工、検査等が適正かつ効率的に執行されているか否かを重きに置き、予め提出を求めた「平成 25 年度部課局所管工事状況一覧表」等から監査対象工事を抽出し、関係職員から関係書類の提示と説明を聴取するとともに、現場踏査による施工、監理状況について考察した。

2. 監査実施日 平成 25 年 6 月 24 日・27 日 平成 26 年 2 月 13 日

3. 監査対象及び方法

平成 25 年度に繰越し等を行った建設工事並びに平成 25 年末までに発注した建設工事
で原則として請負額が 1,000 万円以上の土木・建築工事の中から、市辺配水池関連整備
工事外 5 件の工事を選定し、関係書類の精査等の工事監査を実施した。

4. 監査の結果

監査対象全体を通じて、事務の執行及び事業の管理については概ね適正に処理されて
いると認められた。なお、一部の要望事項について、今後の事務執行に配慮されたい。

5. 監査結果の概要

(1) 市辺配水池関連整備工事及び電気計装設備工事

◆概 要

- ①工事番号 (ア)丹水工第 27 号 市辺配水池関連整備工事
(イ)丹水工第 12 号 市辺配水池電気計装設備工事
- ②工事場所 丹波市氷上町市辺地内
- ③工事概要 (ア)進入路整備 L=310m、場内整備 1.0 式、流量計室 1.0 式
配水管 (DCIP-GX φ250) L=516m
送水管 (DCIP-GX φ200) L=516m
コンクリート舗装 A=1,435 m²
(イ)電気計装設備工事 1.0 式
- *工事期間 (ア)平成 23 年 12 月 6 日～平成 25 年 6 月 28 日
(イ)平成 24 年 8 月 8 日～平成 25 年 6 月 28 日
- *請負者 (ア)株式会社 ウエダ建設
(イ)株式会社 双葉
- *請負金額 (ア)160,757,100 円 (消費税含む) (国庫 簡水 1/4)
(イ)29,337,000 円 (消費税含む) (国庫 簡水 1/4)
- *落札率 (ア)87.8% (イ)70.7%
- *工事担当課 水道部工務課

* 工事進捗状況（平成 25 年 5 月末現在） （ア）92% （イ）95%

* 繰越理由 （ア）配水池下、重力擁壁において土質試験の結果、工法変更が生じ
対策工法の選定及び協議に時間を要し、一部の工事に遅延が生
じたため。

（イ）関連整備工事の工期延伸により、工事着手が遅延したため。

● 要望、指摘事項等

工事の進捗状況については計画に沿った進捗がされている。今後の工程においても
工期に遅れが生じることのないように努められたい。

（2）新井小学校北校舎改築工事

◆ 概 要

- ① 工事番号 施建工第 11 号
- ② 工事場所 丹波市柏原町大新屋地内
- ③ 工事概要 【北校舎】鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 2,216 m²
【東渡廊下棟】鉄骨造 2 階建 延床面積 105 m²
【西渡廊下棟】鉄骨造 2 階建 延床面積 26 m²
【屋外便所】ブロック造 延床面積 34 m²
【体育倉庫】ブロック造 延床面積 32 m²
- * 工事期間 平成 24 年 9 月 21 日～平成 26 年 2 月 28 日（債務負担行為）
- * 請負者 池田建設株式会社
- * 請負金額 700,035,000 円（消費税含む）
（国庫補助 学校施設環境改善交付金 1/3、1/2）
- * 落札率 91.1%
- * 工事担当課 建設部施設建築課
- * 工事進捗状況 42%（平成 25 年 5 月末現在）

● 要望、指摘事項等

工事の進捗状況については計画に沿った進捗がされている。今後の工程においても
工期に遅れが生じることのないように努められたい。なお、園児・児童の安全対策に
は万全を期されたい。

（3）和田地区 P 1 揚水機工事

◆ 概 要

- ① 工事番号 産農整工第 15 号
- ② 工事場所 丹波市山南町和田・梶地内
- ③ 工事概要 水中ポンプ 2.0 基
配管弁類整備 1.0 式、電気設備整備 1.0 式
- * 工事期間 平成 24 年 12 月 22 日～平成 25 年 10 月 30 日
- * 請負者 株式会社 鷹峰
- * 請負金額 12,751,200 円（消費税含む）
（中山間総合整備事業 国 55.0%、県 13.5%、市 10.5%、受益
者 21.0%）
- * 落札率 69.8%

- * 工事担当課 産業経済部農林整備課
- * 工事進捗状況 72% (平成 25 年 5 月末現在)
- * 繰越理由 P 1 のさく井工事を自沈工法(クラムシェル)で実施していたが、転石 (人の頭大) により掘削が遅延したことで、揚水機工事を平成 25 年 10 月 30 日 (仮設ポンプ施設撤去まで) まで延伸することとなった。

● 要望、指摘事項等

工事現場周辺の安全対策には万全を期されたい。今後の工程においても工期に遅れが生じることのないように努められたい。

(4) 石龕寺治山工事

◆ 概要

- ① 工事番号 産農整工第 2 号
- ② 工事場所 丹波市山南町岩屋地内
- ③ 工事概要 落石防護柵設置 H=2.0m L=56.0m
種子吹付け A=469.0 m²
- * 工事期間 平成 25 年 8 月 20 日～平成 26 年 2 月 28 日
- * 請負者 株式会社 大東園
- * 請負金額 10,106,250 円 (消費税含む)
(県単独補助治山事業 県 2/3 市 1/6、受益者 1/6)
- * 落札率 86.2%
- * 工事担当課 産業経済部農林整備課
- * 工事進捗状況 90% (平成 26 年 1 月末現在)

● 要望、指摘事項等

工事現場周辺の安全対策には万全を期されたい。今後の工程においても工期に遅れが生じることのないように努められたい。

(5) 消防本部庁舎増築及び訓練塔新築工事

◆ 概要

- ① 工事番号 消総第 24 号
- ② 工事場所 丹波市消防本部
- ③ 工事概要 建築工事 1.0 式
消防本部庁舎増築：鉄骨造 2 階建 延床面積 359.27m²
(1F：172.22m² 2F：187.05m²)
訓練塔新築：鉄筋コンクリート造+鉄骨造地下 1 階地上 5 階建
延床面積 183.22m²
(地下水槽：29.05m² 1F：51.13m² 2F～5F：各25.76m²)
電気設備工事 1.0 式、機械設備工事 1.0 式、鉄骨工事 1.0 式
外構工事 1.0 式、その他 (撤去) 工事 1.0 式
- * 工事期間 平成 25 年 7 月 20 日～平成 26 年 2 月 28 日
- * 請負者 前田建設株式会社
- * 請負金額 198,240,000 円 (消費税含む)
(国庫補助 地域の元気臨時交付金 58,461,000 円)

- *落札率 94.9%
- *工事担当課 消防本部総務課
- *工事進捗状況 78% (平成26年1月末現在)

●要望、指摘事項等

工事の進捗状況については、計画より遅れが生じている。現場周辺の安全対策に万全を期し、今後の工事の進捗に努められたい。

また、施設整備後は、様々な緊急事態を想定した訓練の実施により、災害現場での迅速な活動を期待する。

2. 現金監査

1. 監査の要領

地方自治法第199条第5項に基づき、定期監査にあわせ次のとおり現金監査を行った。

また、現金監査は、現金管理体制の適正化を確立することを目的に、各部署の出先機関を抽出して現金の現物確認を行った。

2. 監査の期間及び対象課

平成26年1月30日	まちづくり部生涯学習センター（春日文化ホール）
2月4日	まちづくり部市島支所（ライフピアいちじま）
2月5日	産業経済部恐竜を活かしたまちづくり課、まちづくり部柏原支所（柏原住民センター）

3. 監査の方法

現金について、現物及び現金出納簿等を確認した。

4. 監査の結果及び意見

現金監査において、いずれも適正な管理がなされていた。

財政援助団体等監査

1. 監査の要領

地方自治法第 199 条第 7 項に基づき、次のとおり財政援助団体等監査を行った。

この監査は、平成 25 年度財政援助団体等監査実施計画を基に、財政援助団体では交付された補助金が適正にかつ効率的に執行されているか、公の施設の管理を行う指定管理者では、当該管理者の指定が適正・公正に行われ施設が適切に管理されているか否かを重きにおき、予め提出を求めた「平成 25 年度財政援助団体等監査資料」に基づき、団体代表者や関係職員から説明を聴取する方法で実施した。

2. 監査実施日 平成 25 年 11 月 28 日

3. 監査対象及び方法

平成 24 年度に補助金・交付金等又は指定管理料を支出した財政援助団体等の中から 1 団体を選定し、関係書類等の提出を求め、書面審査及びヒアリングにより監査を実施した。

4. 監査の結果

(1) 柏原神姫タクシー株式会社 <指定管理者監査>

◆組織及び事務事業

柏原神姫タクシー株式会社は、昭和 32 年 9 月に設立され、一般乗用旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業、一般小型貨物自動車運送事業、一般乗合旅客自動車運送事業、自家用自動車有償貸渡事業、自動車の運転委託業、損害保険代理業、保険代理業、共済代理店業、自動車の車検整備・修理・新中古車の売買斡旋を行う事業、生命保険の募集に関する業務、駐車場の賃借及び管理に関する業務等の事業を展開されており、職員数は 38 名である。

丹波市営駐車場の指定管理者の指定を受け、平成 22 年 4 月から①駐車場の使用の許可に関する業務、②駐車場の使用料の徴収に関する業務、③駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務、④その他一般管理業務等に取り組みされている。平成 24 年度の指定管理料は、7,630,358 円で業務遂行上の経費に充当されている。

なお、平成 24 年度の市営駐車場利用台数は、月極が 1,298 台、一時が 29,949 台、また、駐車場使用料は 12,944,700 円（「たんば鉄道の日」収入は含まず）となっている。

●意見及び要望

住民生活の利便の増進と、道路交通の機能を確保するために設置された市営駐車場の管理業務に迅速に対応されている。今後も利用者に対するサービスの向上と効率的な管理運営に努められたい。

む す び

最後に

丹波市の不祥事については、「平成 24 年度定期監査等結果報告書」、「平成 24 年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況の審査意見書」等において、繰り返し信頼回復を求めてきたところである。

しかしながら、市が再発防止のため「丹波市職員憲章」を定め、職員倫理の向上に取り組んでいるさ中において、たび重なる不祥事が発覚したことは、市政に対する市民の信頼を失墜するものである。この事実は、個々の職員の当事者意識の欠如と組織の硬直化がもたらしたものであり誠に遺憾である。

そこで、今回の定期監査では、特に調定事務等の収入管理、復命などの基本的な事務の執行が財務規則や服務規程を遵守しているかなどを中心に監査した。このことは、いかに小さな事務執行であっても、規則等の遵守とともに一つひとつの事務執行の積み重ねが、市民からの信頼回復への第一歩であると確信する。

言うまでもなく、法令や条例等の遵守は地方公共団体の運営の根幹であり、それによって市民との信頼関係が築かれ、その信頼の上に市政が執行できるのである。今一度、職員一人ひとりが丹波市職員として、職務の基本に立ち返り、関係法令や条例等を遵守するとともに、職員全体の倫理意識の確立により、失われた市民の信頼回復に努められることを強く求めるものである。

参 考 資 料

◆平成25年11月1日現在の職員定数と現員数等は次のとおりである。

企画総務部職員課資料（単位：人）

区 分	定数	現員数	他に非常勤 一般職員数
(1) 市長の事務部局の職員	621	439	117
(2) 公営企業の職員	33	22	0
(3) 議会の事務部局の職員	6	5	0
(4) 教育委員会の事務部局及び教育委員会の所管に 属する教育機関の職員	190	114	257
(5) 選挙管理委員会の事務部局の職員	(8)	(5)	0
(6) 監査委員の事務部局の職員	4	3	0
(7) 公平委員会の事務部局の職員	(7)	(3)	0
(8) 農業委員会の事務部局の職員	7	4	0
(9) 固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	(2)	(2)	0
(10) 消防機関の職員	92	74	0
合 計	953	661	374

(平成24年11月1日時点) (953) (667) (387)

- ※1 市長の事務部局の職員現員数には、派遣職員（氷上多可衛生事務組合7人、兵庫県丹波県民局丹波土木事務所1人）を含む。
- ※2 選挙管理委員会の事務部局及び固定資産評価審査委員会の事務部局の職員現員数は市長の事務部局（企画総務部総務課）の職員が兼務、公平委員会の事務部局の職員現員数は、監査委員の事務部局の職員が兼務しているため内数（ ）書きで計上している。
- ※3 消防機関の職員現員数には、派遣職員（兵庫県消防防災航空隊1人）を含む。